

1. 等高線チェック(TIN 参照)

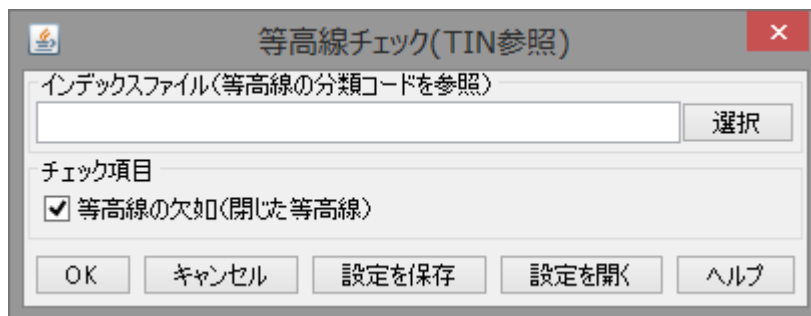
新メニュー

チェック 1/等高線チェック(TIN 参照)

を追加しました。

開いている DM の等高線についてチェックします。

DM と DM から作成した TIN が表示されている状態で実行して下さい。



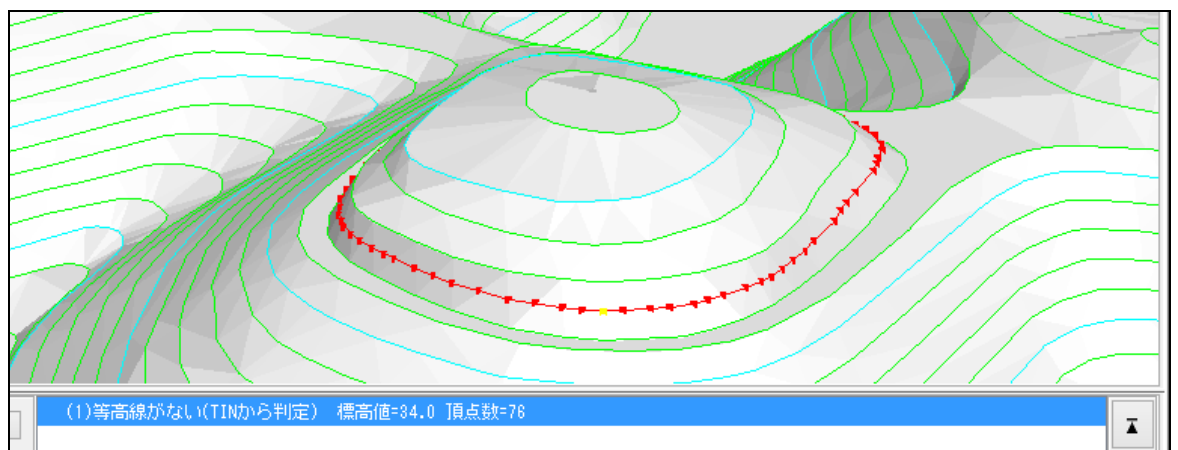
インデックスファイル

等高線の分類コードについて、7101-7108 以外が使われている場合、インデックスファイルを指定して下さい。

等高線の欠如(閉じた等高線)

DM データの等高線について、山頂付近での閉じた等高線がないケースを調べます。

プログラム内部で、TIN から等高線を発生し、閉じた等高線について、DM に該当する等高線がなければリストアップします。



2. [要素]標高値設定

メニュー

チェック 2 / 点要素チェック

に、チェック項目

近接の 3 次元の等高線との標高差 (8 方向)

を追加しました。

<http://www.geocoach.co.jp/help/DMPointCheckDialog.pdf>

3. [要素]標高値設定

開いている DM の一連の等高線について標高値をセットします。

選択している等高線と、端点が同じ XY 座標の等高線について、Z 値を設定します。

<http://www.geocoach.co.jp/help/SetElevationNextDialog.pdf>

4. 要素リストアップ

メニュー

ツール / 要素リストアップ

の処理に

注記の文字列の方向を正值にする

を追加しました。

<input type="radio"/> 注記の字隔を変更する	0
<input type="radio"/> 注記の線号を変更する	1
<input checked="" type="radio"/> 注記の文字列の方向を正值にする	
<input type="radio"/> 2次元化する	

<http://www.geocoach.co.jp/help/DMQueryCheckDialog.pdf>